



雨の中でも大盛況!!

津野町ふれあい特産市

〔ふれあい特産市〕

5月29日(日)津野町西運動公園にて、毎年恒例となりました「第12回津野町ふれあい特産市」が開催されました。

町の特産品販売と産業振興やPRを目的に同特産市実行委員会(会長 谷脇幸秀)が催したものです。あいにくの雨ではありませんが、町内外から20000人を越える来場がありました。

会場では、新茶の試飲販売や町内商店によるうまいもの市、採れたて野菜の販売などがあり、特産品を買い求める多くのお客さまで賑わいました。

新茶の試飲では皆、普段飲んでいるお茶と違って香りが良くおいしいとの声が聞かれました。

今年も、奥四万十博体験コーナーが設けられ、「トウクトウク」への乗車や、アロマ作成、木工教室のほか、神楽のミニ釣竿作成等があり、多くの方に楽しんでいただきました。特にトウクトウクで

は乗車待ちのお客さままで長蛇の列ができていました。

また、ステージでは「動物戦隊ジュウオウジャーショー」を始め、津野山古式神楽の上演や急遽演奏場所をB&Gアリーナ内に変更しての「自衛隊第14音楽隊」の演奏もあり、多くの親子連れ等で賑わいました。

〔新茶PR〕

今年も、5月を「新茶月間」と称し、ふれあい特産市関連イベントを開催しました。

ゴールデンウィークには道の駅布施ヶ坂でJ A津野山主催の「四万十源流茶新茶まつり」を開催。摘みたて新茶の試飲販売を行いました。

また、9日(月)〜31日(火)は各宿泊所による新茶の無料配布を実施。宿泊者に新茶のティーバッグや津野町のパンフレットを配布し、新茶月間を通して町外にも広く津野町と新茶のPRをすることができました。(産業課)



▲トウクトウクに乗ってコース内に隠れている「つーのん」を探すゲームが人気で、何回も乗車するちびっ子



▲新茶の釜煎り体験には、昔ながらの加工方法に驚きながらも一生懸命にお茶を煎っていました



▲自衛隊音楽隊の本格的な演奏に感動



▲ジュウオウジャーショーは雨の中でも傘を差しながら食い入るように観覧していました